

第 51 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【部会①】

開催記録

1 開催概要

- 日 時：令和 7 年 1 月 8 日（水）10：00 ～ 10：50
- 場 所：JR 東日本 現地会議室
- 出席者：

表 出席者一覧

委員長	・ 谷川 章雄氏（早稲田大学名誉教授）
委員	・ 小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 アドバイザー） ・ 古関 潤一氏（東京大学名誉教授・ライト工業株式会社 R&D センター テクニカルオフィサー） 欠席 老川 慶喜氏（立教大学名誉教授）
オブザーバー	・ 港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 ・ 港区街づくり支援部 ・ 東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課 ・ 東京都 建設局 道路建設部 鉄道関連事業課 ・ 東京都 交通局 建設工務部 計画改良課 ・ 独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 都心業務部 ・ 鉄道博物館 学芸部 ・ JR 東日本コンサルタンツ株式会社 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模プロジェクト推進部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター ・ 京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部
事務局 東日本旅客鉄道(株) 京浜急行電鉄(株)	・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模プロジェクト推進部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部 他
サポート	・ パシフィックコンサルタンツ株式会社

■ 当日配布資料

1) 議事録確認

- ・ 次第
- ・ 資料 1：第 50 回委員会（12/4）部会①議事録案
- ・ 資料 2：第 50 回委員会（12/4）部会②議事録案
- ・ 資料 3：第 50 回委員会（12/4）部会③議事録案

2) 部会①

- ・ 次第
- ・ 資料 1：TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア（5・6 街区）における見学会について

2 議事要旨

2.1 議事録確認

(1) 開会

- 第 51 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。(事務局)

(2) 議事録確認

1) 第 51 回委員会 (12/4) 部会①の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2) 第 51 回委員会 (12/4) 部会②の議事録確認

- 8 ページ最上段の老川委員の発言「仮設歩道橋」を「構造物」と修正する。(事務局 JR)
- その他修正指摘なし。(委員一同)

3) 第 51 回委員会 (12/4) 部会③の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2.2 部会①

(1) 開会

- 第 51 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会の部会①を開会する。(事務局 JR)

(2) TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア (5・6 街区) における見学会について (報告)

- 資料 1 について説明する。(港区)

<説明概要>

- 昨年 12 月 8 日・9 日に 5・6 街区の確認調査に関する現地見学会を開催した。
- 対象は確認調査のトレンチ 1 の見学、パネルの展示、出土遺物の展示となる。
- 2 日間多くの方に来場いただき、概ね楽しんでおられた印象を持っている。
- JR 東日本、UR、京急をはじめ多くの関係者に協力をいただき、御礼申し上げます。
- 2 日間で 4,306 名というのは、通常の遺跡見学会では考えられない見学者数であり関心の高さを改めて認識した。(委員長)
- 5・6 街区の今後の進め方は、確認調査の調査報告を受けるとともに、連立 1 工区・環

状 4 号・仮斜路部におけるこれまでの調査結果と合わせて 5・6 街区全体の遺構の推定を行っていく。これを踏まえて、1～4 街区の調査成果との比較検討を行い、5・6 街区の遺構の評価を行い、5・6 街区の文化財的価値についての見解を委員として取りまとめていく。(委員長)

← 異議なし。(委員一同)

(3) その他

<部会①・部会③終了後>

- 最後に文化財行政からコメントをお願いしたい。

← 部会②に関連し、駅街区の北棟部について、近世の板柵の部分で 12 月 24 日付で既に周知の埋蔵文化財包蔵地に登載されている港区No.227 遺跡に追加し、範囲を変更した。12 月の見学会について関係者に御礼申し上げる。一般の方々の関心の高さを肌で感じた。京急連立事業範囲の調査も大詰めであり、これらを踏まえて 5・6 街区の評価をお願いしたい。(東京都)

← 現地見学会を無事に終了できて何よりであり、協力いただいた関係者に御礼申し上げます。多くの見学者が概ね好意的に捉えており、熱心に見学していた。開催して本当に良かったと思う。引き続き委員会での議論と情報公開を継続していけたら良いと思う。(港区)

(4) 閉会

3 議事録

3.1 議事録確認

(1) 開会

- (事務局 JR) 第 51 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会します。
- ・ 挨拶
 - ・ 資料確認
 - ・ オンラインの案内
 - ・ 次第説明

(2) 議事録確認

- (事務局 JR) 部会②の 8 ページについて、配付した資料に修正がある。一番上に記載の老川委員の発言で「仮設歩道橋」とあるが、「構造物」と修正をお願いします。
- (事務局 JR) その他、3つの議事録について修正等の指摘があれば委員会終了までに連絡をいただきたい。
- (事務局 JR) 意見がなければ、議事録確認を終了する。

3.2 部会①

(1) 開会

- (委員長) 次第に沿って進める。

(2) TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア (5・6 街区) における見学会について

- (港区) 資料 1 について説明する。2024 年 12 月 8 日・9 日に現地見学会を開催した。主催は港区教育委員会、協力は JR 東日本である。開催に当たっては UR、京急をはじめ多くの関係者に協力をいただいた。確認調査のトレンチ 1 の見学、それ以外のトレンチの内容を説明したパネルの展示、出土した遺物の展示を行った。特に 8 日は日曜日で、終日人の流れが途切れることなく多くの方に来場いただいた。見学者は両日で 4,306 名、資料の配付数でカウントしているため多少の違いはあるものとする。参加の告知は、1 か月ほど前から港区 HP のほか、12 月に入って報道機関向けの見学会の報道などを通じて行った。多くの方に来場いただき、楽しんでおられた印象を持っている。

- 関係者にはこの場をお借りして御礼申し上げます。
- (委員長) 質問、意見はあるか。
- (委員長) 2 日間で 4,306 名という通常の遺跡見学会では考えられない見学者数と実感しており、関心の高さを改めて認識した。前回の見学会はコロナ禍であり事前申し込みという制限を設定せざるを得なかったが、今回はそれがなく、多くの方に見ていただけたことが良かったと思う。改めて御礼申し上げます。
- (委員長) 5・6 街区の今後の進め方は、確認調査の調査報告を受けるとともに、連立 1 工区・環状 4 号・仮斜路部におけるこれまでの調査結果と合わせて 5・6 街区全体の遺構の推定を行っていく。これを踏まえて、1～4 街区の調査成果との比較検討を行い、5・6 街区の遺構の評価を行い、文化財的価値についての見解を委員として取りまとめていきたいと考えている。委員の皆様はそれでよいか。
- (委員一同) 異議なし。
- (委員長) 他に何かなければ、次に進める。

(3) その他

- (委員長) その他なにかあるか。
- (委員長) 特になければ部会①を閉会する。

<部会①・部会③終了後>

- (委員長) 最後に文化財行政からコメントをお願いしたい。
- (東京都) 部会②に関連し、駅街区の北棟部について、12 月末に港区からこれまでの調査を踏まえて、周知の埋蔵文化財包蔵地をさらに 2 か所追加したいという依頼があった。北棟の北側と南側の近世の板柵の部分になる。こちらについて 12 月 24 日付で既に周知の埋蔵文化財包蔵地に登載されている港区 No.227 遺跡に追加し、範囲を変更した。12 月の見学会については、関係者に御礼を申し上げます。月曜日に参加したが、一般の方々の関心の高さを肌で感じる事ができた。京急連立事業の調査も大詰めを迎えている。これらも踏まえて 5・6 街区の評価について、引き続きよろしくお願いしたい。
- (港区) 現地見学会を無事に終了できたことが何よりだと思っている。協力いただいた関係者に御礼申し上げます。多くの見学者に概ね好意的に捉えていただいた。遺構や遺物、パネルも熱心に見ていた。開催して本当に良かったと思っている。引き続き委員会での議論と情報公開を継続していけたら良いと思っている。
- (事務局 JR) 次回委員会は、2 月 5 日(水) 10 時 00 分より、会場は JR 東日本現地会議室を予定する。お忙しい中貴重なご意見をいただき感謝申し

上げる。閉会とする。

(4) 閉会

以 上